

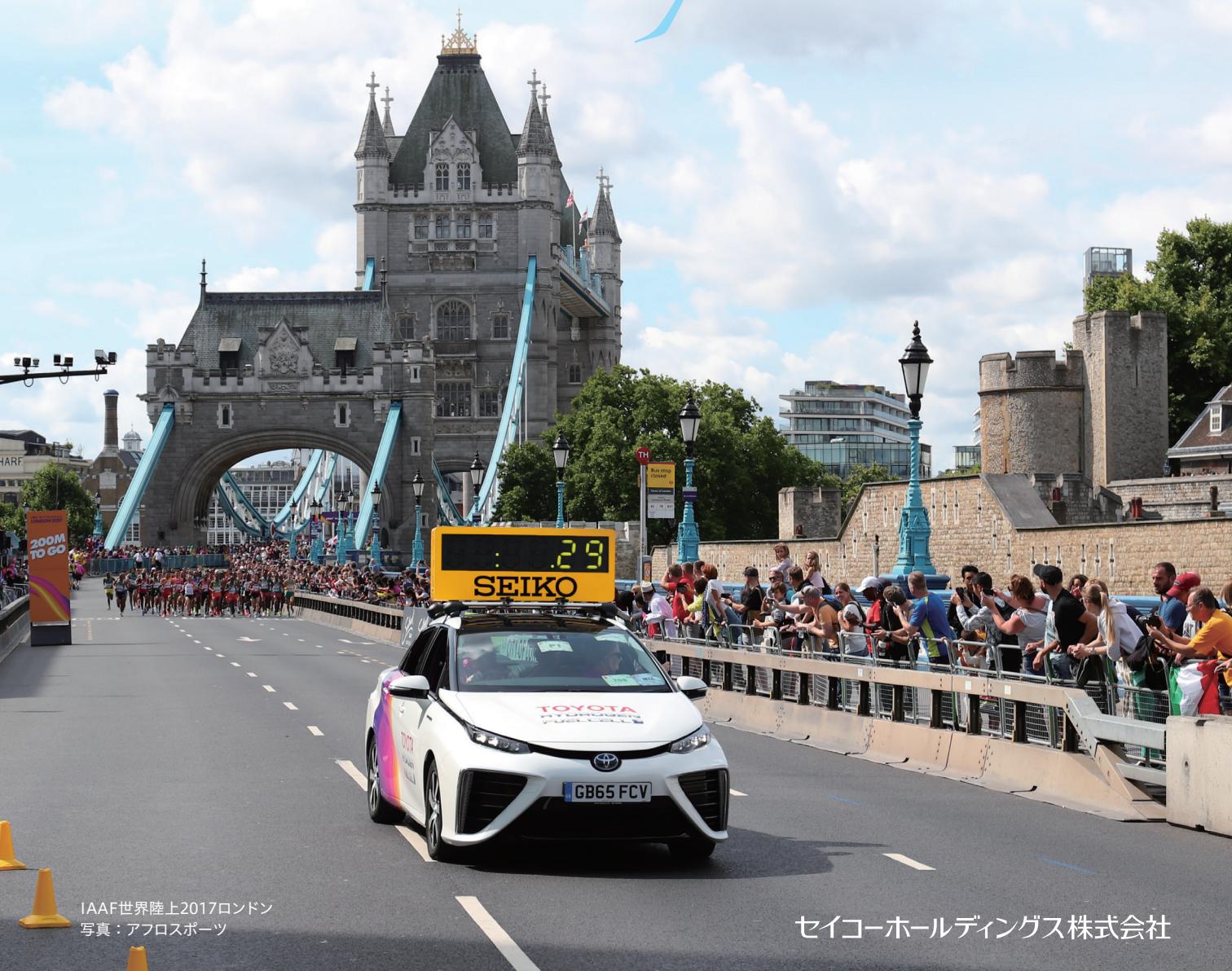
時代とハートを動かす

SEIKO

2018年3月期 中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

Report



IAAF世界陸上2017ロンドン
写真：アフスポーツ

セイコーホールディングス株式会社



代表取締役会長 兼 グループ CEO

服部 真二

高収益グループを目指し、
① 収益力の強化と成長への投資、
② 経営基盤の強化
を継続して行ってまいります。



代表取締役社長

中村 吉伸

上期の経営成績

売上高・営業利益ともに、
全事業セグメントで前年同期を上回る
通期の連結業績予想を上方修正

2018年3月期上期の連結売上高は、1,330億円(前年同期比8.7%増)となりました。利益面では、営業利益68億円(同120.7%増)、経常利益69億円(同315.6%

増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期のマイナス15億円から転じ、24億円となりました。

国内における個人消費の緩やかな回復や、為替の追い風もあり、全ての事業セグメントで売上高・営業利益ともに前年同期を上回りました。

上期の業績を踏まえ、通期の連結業績予想を、売上高2,700億円、営業利益90億円、経常利益100億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円に上方修正いたしました。

世界経済の下振れリスクや為替市場の動向など、今後の環境変化を慎重に見極めながら、さらなる高収益グループを目指し、ウォッチ事業を中心とした戦略的な投資を継続するとともに、経営基盤の質的強化を図ります。

セグメント別の概況

電子デバイス事業を中心に堅調に推移

上期におけるウォッチ事業は、売上高679億円(前年同期比5.0%増)、営業利益43億円(同21.0%増)となりました。

3月に独立ブランド化した「グランドセイコー」は、新たなブランド戦略と重点投資が実を結び、好調に推移しました。新製品の投入により、「プレザージュ」「プロスペックス」の売上も前年同期を上回りました。

8月には、グローバル戦略として世界の主要都市で展開しているセイコーブティックを、ロンドン屈指の高級ショッピング街にオープンしました。また、同時期に公

式計時を務めた「IAAF世界陸上2017ロンドン」が開催され、広告・流通・販売が三位一体となり、ブランド価値向上に貢献しました。

流通別では、専門店が前年同期に比べて増加しているほか、インターネット流通も好調でした。

苦戦を強いられていたウォッチムーブメントの外販は、一部製品の市況が回復しつつあり、前年同期の売上を上回りました。

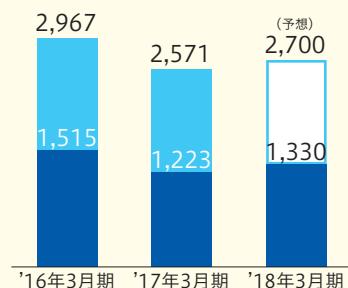


セイコーブティック ロンドン

決算ハイライト

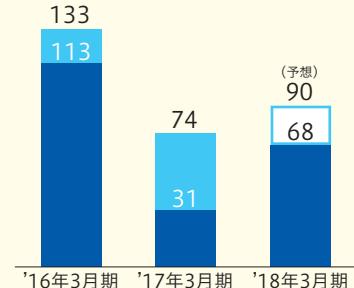
売上高 (億円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 □ 通期予想



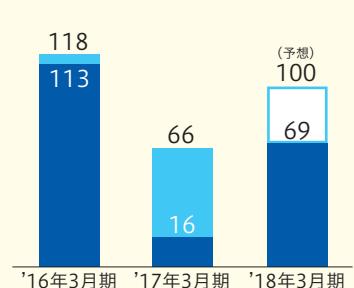
営業利益 (億円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 □ 通期予想



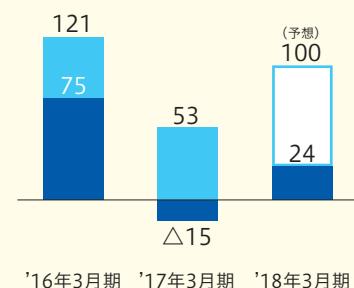
経常利益 (億円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 □ 通期予想



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (億円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 □ 通期予想



有利子負債 (億円)



2018年3月期通期連結業績予想
(上方修正後) (億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
今回(A)	2,700	90	100	100
前回(B)	2,600	65	70	50

(A) 今回業績予想は2017年11月14日発表値
(B) 前回業績予想は2017年8月2日発表値

電子デバイス事業は、売上高441億円(前年同期比9.3%増)、営業利益は39億円(同220.3%増)と、前年同期を大きく上回りました。

スマートフォン向け部品を中心に半導体が好調に推移し、高性能金属製品やサーマルプリンタが堅調だったほか、事業構造の改善が進んだことも相まって大幅な増益となりました。

システムソリューション事業は、売上高127億円(前年同期比32.5%増)、営業利益6億円(同22.8%増)となりました。好調に推移したホームセキュリティや車載向けのモバイルソリューション、通信キャリア向けのネットワークソリューションに加え、下期以降も安定的な収益を創出するストックビジネスの拡充を進め、さらなる事業拡大を図ります。

その他の売上高は128億円(前年同期比1.4%増)、営業利益は3千万円(前年同期は2億円の営業損失)となりました。(株)和光は、個人消費の回復や販売施策の効果もあり、前年同期の売上高を上回りました。セイコークロック(株)では、クロック製造125周年モデルやマルチサウンドクロックなど、引き続き新製品の投入を積極的に進めてまいります。

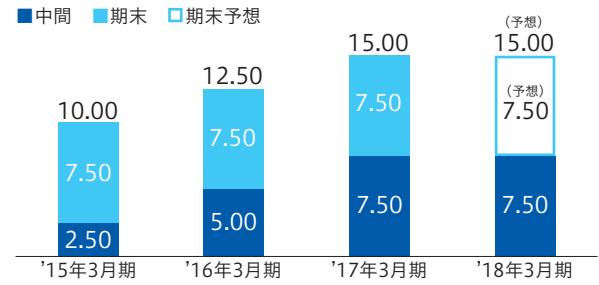
株主還元

継続的・安定的な配当の実施を基本方針としています

株主の皆さまへの還元については、グループの連結業績をベースに、経営基盤強化のための内部留保の充実に配慮しつつ、長期的な観点から継続的・安定的な配当を実施することを基本方針としております。

この方針に基づき、2018年3月期中間配当金は1株当たり7.5円とさせていただきます。なお、期末配当金は7.5円(年間配当金15円)*を見込んでおります。

1株当たり配当金 (円)



*2018年3月期は株式会社(2017年10月1日付)の考慮前のものです。株式会社後の実際の期末配当は1株につき37.5円の予定です。

単元株式数の変更および株式併合についてのご案内

当社は、2017年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、5株を1株とする株式併合を実施いたしました。なお、株主様におかれましては、特段のお手続きの必要はございません。

単元株式数の変更

1,000株から100株に変更

単元株式数とは、株主総会における議決権の単位であり、証券取引所における売買の単位となる株式数です。

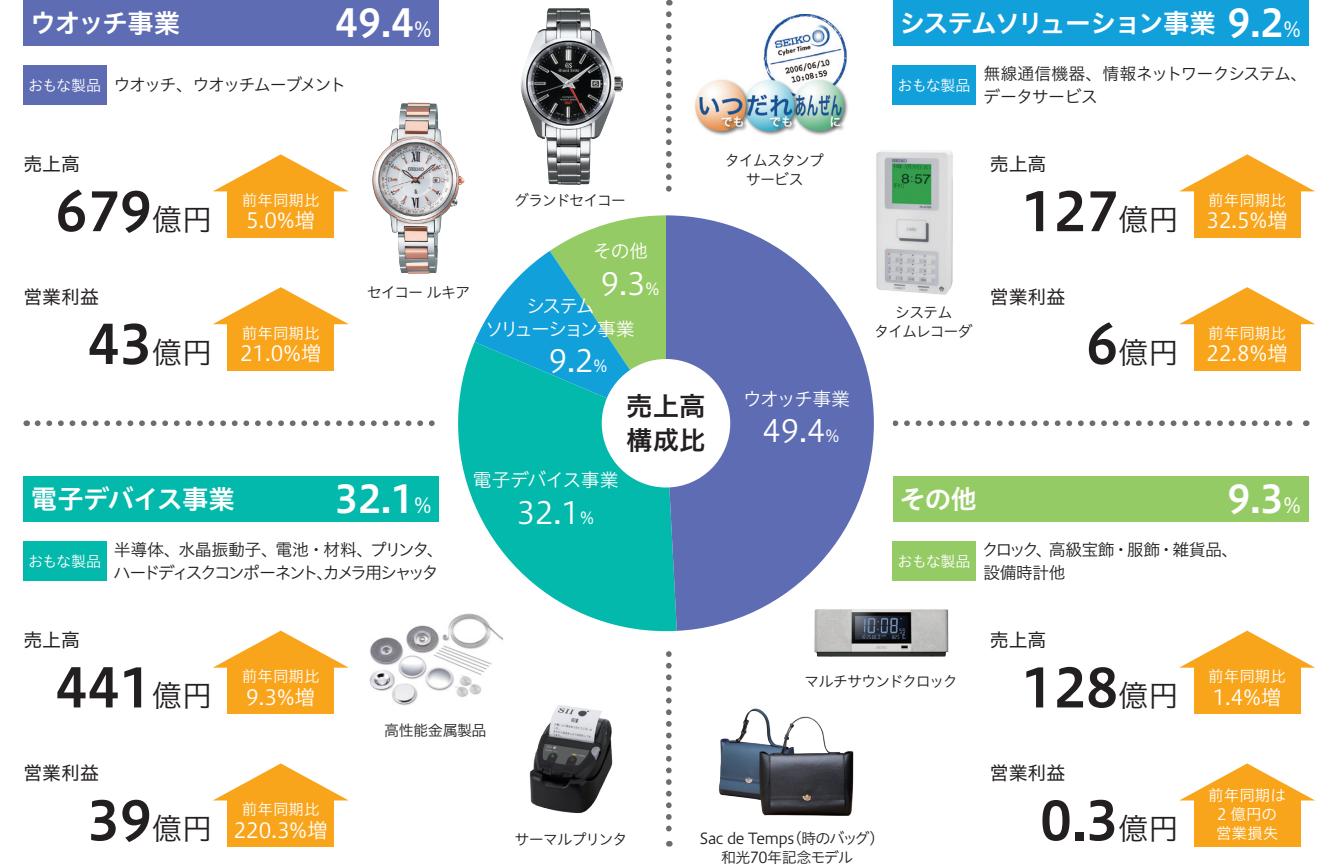
株式併合

5株を1株に併合

株式併合とは、複数の株式をあわせてそれより少ない数の株式にすることです。株式併合により、ご所有の当社株式数は5分の1となりますが、1株当たりの資産価値は5倍となります。

セグメント別情報

2018年3月期第2四半期(累計)セグメント別実績



2018年3月期通期セグメント別業績予想(上方修正後)

	売上高		営業利益	
	今回(A)	前回(B)	今回(A)	前回(B)
ウォッチ事業	1,400	1,350	70	70
電子デバイス事業	820	820	55	35
システムソリューション事業	260	240	15	15
その他	290	270	5	5
本社調整	△70	△80	△55	△60
連結合計	2,700	2,600	90	65

(A)今回業績予想は、2017年11月14日発表値

(B)前回業績予想は、2017年8月2日発表値

単位：億円未満切り捨て

主な経営成績 (億円)	2013年3月期 (第152期)	2014年3月期 (第153期)	2015年3月期 (第154期)	2016年3月期 (第155期)	2017年3月期 (第156期)	〈参考〉 2018年3月期 (第157期) 第2四半期
売上高	2,837	3,082	2,934	2,967	2,571	1,330
営業利益	55	140	116	133	74	68
経常利益	32	101	123	118	66	69
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	55	74	217	121	53	24
純資産	408	647	925	1,026	1,071	1,140
総資産	3,553	3,667	3,337	3,291	3,288	3,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	214	155	165	150	42	163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20	△ 109	462	△ 83	△ 132	△ 66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 292	△ 35	△ 668	△ 66	57	△ 23

1株当たりデータ (円)

純資産	188.76	304.24	437.52	457.44	476.10	—
四半期(当期)純利益	29.41	35.92	105.39	58.76	26.14	11.88*

※ 2017年10月1日付で、5株を1株とする株式併合を行っております。
1株当たり四半期純利益は、当第2四半期連結累計期間の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出した場合、59.39円となります。

主な指標

自己資本比率(%)	11.0	17.1	27.1	28.7	29.8	29.9
ROA(総資産経常利益率/%)	0.9	2.8	3.5	3.6	2.0	—
ROE(自己資本当期純利益率/%)	17.5	14.6	28.4	13.1	5.6	—
PER(株価収益率/倍)	14.3	11.4	5.8	7.6	17.4	—
配当性向(%)	8.5	13.9	9.5	21.3	57.4	—

→財務データに関する詳細な情報は当社ホームページよりご覧いただけます。 <http://www.seiko.co.jp/ir/financial/index.html>

会社情報

会社概要

社名	セイコーホールディングス株式会社
創業	1881年(明治14年)
資本金	100億円
従業員数	145名(単体) 13,170名(連結)
本店所在地	〒104-8129 東京都中央区銀座四丁目5番11号
本社所在地	〒104-8110 東京都中央区銀座一丁目26番1号 電話：03-3563-2111(代表)
WEBサイト	http://www.seiko.co.jp

役員

代表取締役会長 兼 グループCEO	服部 真二
代表取締役社長	中村 吉伸
常務取締役	大熊 右泰
取締役	金川 宏美
取締役	瀧沢 観
取締役	高橋 修司
取締役	内藤 昭男
取締役	石井 俊太郎
取締役	カーステン・フィッシャー*1
取締役	遠藤 信博*1
常勤監査役	三上 誠一
常勤監査役	高木 晴彦
監査役	山内 悦嗣*2
監査役	青木 芳郎*2
監査役	浅野 友靖*2

*1 社外取締役
*2 社外監査役

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	746,000,000株
発行済株式の総数	207,021,309株

※2017年10月1日付で、5株を1株とする株式併合を行っております。
これにより、同日付で発行可能株式総数は149,200,000株、
発行済株式の総数は41,403,659株となりました。

株主数 13,189名

株式所有者別の状況



※自己名義等は、自己名義株式(289,663株)および当社関係会社が所有する株式です。

株主メモ

証券コード	8050
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
決算基準日	3月31日
配当支払株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵送物送付先 お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-288-324(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

TOPICS

和光に「セイコーフラッグシップサロン」をオープン

～グランドセイコーは世界最大級の品揃え～

和光創立70年という記念の年にあたり、本館1階ウオッチ売場を改装し、「セイコーフラッグシップサロン」として10月から新たにオープンいたしました。グランドセイコー、クレドール、セイコー ガランテのプレミアムブランドに加え、セイコー アストロン、プロスペックス、プレザージュなど、グローバルに展開するセイコーの主力商品を中心に取り扱いいます。

中でもグランドセイコーは、フルラインアップの商品を展示する世界最大級の品揃えとなります。

銀座の街を代表する和光で、世界中からお越しになるお客様にセイコーブランドを発信してまいります。



齋藤勝雄(盛岡セイコー工業)が「現代の名工」に選定

高級機械式腕時計の組立を行う齋藤勝雄が、厚生労働省より平成29年度「卓越した技能者(現代の名工)」表彰を受賞いたしました。

齋藤は、高級ドレスウオッチ クレドールに搭載される厚さ1.98mmの極薄メカニカルムーブメント「キャリバー68」の製作を手掛けています。指先の感覚を頼りに、100分の1mm単位で120点を超える部品を調整しながら組み立てる作業は、まさに卓越した技能。

組立実演などを通して、日本の高級機械式腕時計の魅力や技術の高さを世界にアピールし、機械式時計のファンや市場の拡大にも貢献しています。



メカニカルムーブメント
キャリバー68(厚さ1.98mm)

セイコーホールディングス株式会社

〒104-8110 東京都中央区銀座一丁目26番1号
電話 03-3563-2111 (代表)

